

歌舞伎を支える人々

～ 関容子が会いたい人 ～

第4回

林与一 氏

歌舞伎を愛するエッセイスト関容子氏が今、会いたい人！

歌舞伎を支える一流ゲストとともに

自在に語り尽くす珠玉のトークショーです。



【プロフィール】

1942年 大阪府出身 俳優・舞踊家。
曾祖父は初代中村鴈治郎。祖父・父とも歌舞伎役者という家系に生まれ、自身も1958年大阪歌舞伎座で初舞台を踏む。「赤穂浪士」堀田隼人役で脚光を浴び「人形佐七」「必殺仕掛人」など時代劇スターとして様々な作品で活躍。現在は、長い芸能人生の知識と経験を聞かせてほしいとの声に応え、講演会やワークショップ、トークショーなどを全国で開催している。



関容子 (せきようこ)

1958年日本女子大・国文科卒業。
1981年詩人・堀口大學への間書き「日本の鷲」で日本エッセイスト・クラブ賞、角川短歌愛読者賞。
1996年「花の脇役」で講談社エッセイ賞、
2000年「芸づくし忠臣蔵」で読売文学賞、芸術選奨文部大臣賞。
近著に「銀座で逢ったひと」中央公論社がある。

10/1 (土) 15:30開始 / 15:00開場

※お申込要領は裏面をご覧ください

会場：歌舞伎座3階 花籠ホール (定員60名 / 要予約)

参加料：一般4,000円 / R会員3,000円 / S会員2,000円 / 青少年1,000円

青少年：満12歳～26歳未満 (年齢確認可能な証明書をお持ちください)

主催：一般社団法人 伝統文化交流協会 共催：古典の日推進委員会
特別協力：一般社団法人 日本伎藝文化振興会
歌舞伎座サービス株式会社 / ジャポニスム振興会